私たち全農グループは、
生産者と消費者を　安心で結ぶ懸け橋
になります。

JA全農いばらき

全農

茨城県本部のすがた

2024 事業案内

取り組みます！

持続可能な農業のための生産基盤の確立

食農バリューチェーンの構築

安心して暮らし続けられる魅力的な地域社会づくり

環境負荷低減

輸送体制の構築

付加価値向上につながる輸出拡大

組織概要

名　称　全国農業協同組合連合会茨城県本部（JA全農いばらき）
設　立　平成14年4月1日
会員数　23会員（県域）
出資金　33億6,750万円（県域）
職員数　319名（令和6年4月1日現在 嘱託を含む）
取扱高　令和5年度実績 1,754億円
（購買482億円・販売1,272億円）
令和6年度計画 1,686億円
（購買501億円・販売1,185億円）

沿革

昭和　5年　茨城県購買組合連合会設立
昭和14年　県信連と合併し、茨城県信用販売購買利用組合連合会設立
昭和18年　農業団体法制定により、茨城県農業会に改組
昭和23年　戦後の組織再編により、茨城県販売農業協同組合連合会（茨城県販売連）と茨城県購買農業協同組合連合会（茨城県購買連）に分離
昭和27年　茨城県購買連と茨城県販売連が合併し、茨城県経済農業協同組合連合会（茨城県経済連）設立
平成　4年　農協の愛称「JA」及び新農協マーク（JAマーク）の使用開始
平成14年　全国農業協同組合連合会と合併

事業概要

全農茨城県本部の取り扱いは、茨城県の農家組合員が生産する米・青果物・牛・豚・その他農畜産物の販売と関連する生産資材や生活用品の供給など多岐にわたっています。全農茨城県本部の事業は、主に販売事業と購買事業、営農指導事業に分類できます。

【 販売事業 】
県内JAが取り扱う米・青果物・食肉など農畜産物を、市場や消費者へ販売する事業です。

【 購買事業 】
農畜産物の出荷に必要な資材、生産に必要な肥料・農薬、生産資材、農業機械、日常生活に必要な商品・サービスなどを供給する事業です。

【 営農指導事業 】
県域営農支援センター（JA茨城県中央会）と農機営農支援部が連携し、「食の安全・安心」対策や担い手支援などをおこなっています。

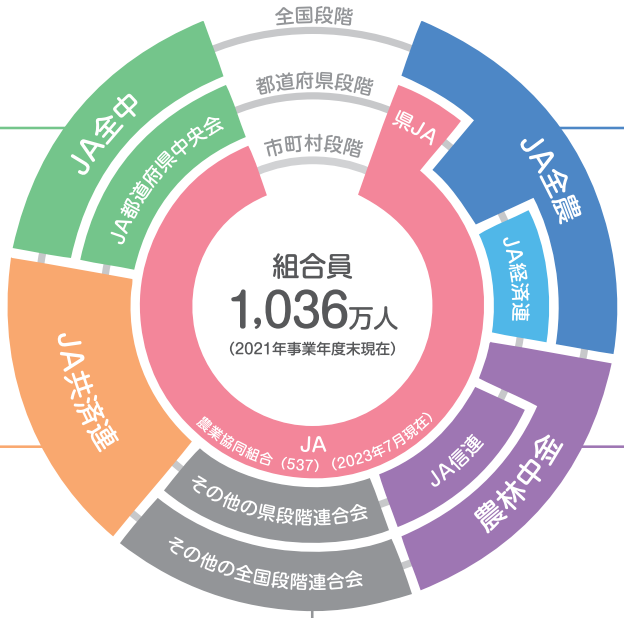
JAグループのしくみ

代表・総合調整・経営相談事業

JAグループの意見を代表・総合調整し、組織、事業および経営に関する相談に応じる。

共済事業

生命共済、損害共済、年金共済を扱い、組合員の生活を保障する役割を担う。



経済事業

組合員の生産した農畜産物を消費者に届ける「農畜産物販売事業」と組合員に必要な資材を供給する「生産資材販売事業」を行う。

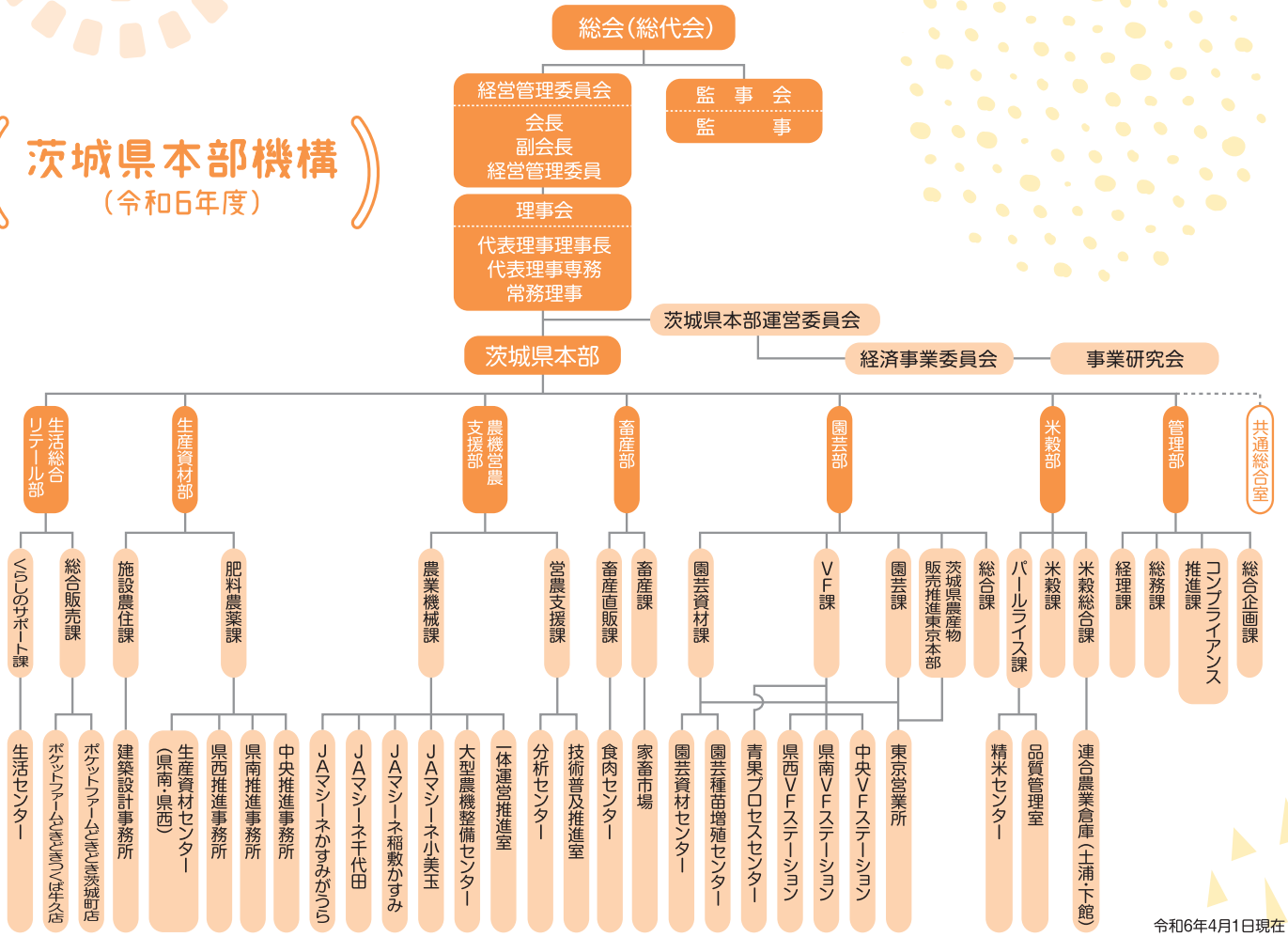
信用事業

組合員の貯金を原資に、組合員に対する各種金融サービスを行う。

その他の事業

厚生事業、新聞情報事業、出版・文化事業、旅行事業を行う。
(日本農業新聞・家の光協会・農協観光・JA全厚連・JA厚生連)

茨城県本部機構
(令和6年度)



令和6年4月1日現在

総合リテール事業

県本部の総合販売窓口として、eコマース事業や魅力ある地域産品づくり、「ポケットファームどきどき」2店舗の運営を通じた県産農畜産物の販売拡大に取り組んでいます。

【主な取扱い品目】
青果物・精肉
加工品

JAタウン

ポケットファームどきどき

オリジナル商品開発

米穀事業

需要に基づく作付提案や契約栽培、水田活用米穀などの取り組みにより、生産から集荷、販売まで一貫した事業運営を進めています。

【主な取扱い品目】
米・麦・大豆・
農産種子・袋資材

茨城のお米

パールライス

契約栽培米のほ場

園芸・園芸資材事業

JAグループ茨城として、生産振興と産地基盤の維持・拡大により生産者の所得確保を進めるとともに、環境対応資材等の提供により持続可能な農業に取り組んでいます。

【主な取扱い品目】
青果物・花き・園芸資材・包装資材・
園芸種苗・種馬鈴薯・椎茸資材

アモーレ

県産青果物をPR

畜産事業

生産から販売まで一貫した取り組みにより、常陸牛やローズポークの生産基盤強化、ならびに食肉販売の新たなバリューチェーンを構築し、生産者の所得増大を図ります。

【主な取扱い品目】
素畜（牛・豚）・肉牛・
肉豚・市場（子牛）・
精肉・加工品

常陸牛

ローズポーク

品質向上に向けた取り組み

農機営農支援事業

生産資材コスト低減に向けた省力・低コスト技術の普及や、多様な農業者のニーズに合わせた技術提案に取り組んでいます。

【主な取扱い品目】
農業機械・部品・
土壌分析

農機営農支援事業

低コスト農機の提案

生産資材事業

肥料農薬の銘柄集約や担い手農家への直送、土づくりの実践によるコスト低減、および持続可能な物流体制の構築や環境負荷を抑えた施設建設に取り組んでいます。

【主な取扱い品目】
肥料・農薬・農業施設・
住宅・リフォーム

生産資材事業

環境に配慮した肥料開発

生活関連事業

組合員・地域住民が安心して営農・生活できる地域のくらし支援に取り組んでいます。

【主な取扱い品目】
生活用品・食品・石油類・
石油機器・LPガス・
ガス機器・食材・葬祭

ふれあい食材

安全安心な商品の展開

事業管理

事業環境の変化に対応した経営基盤の強化、継続的な事業改革、子会社を含めたコンプライアンス態勢の強化に取り組んでいます。

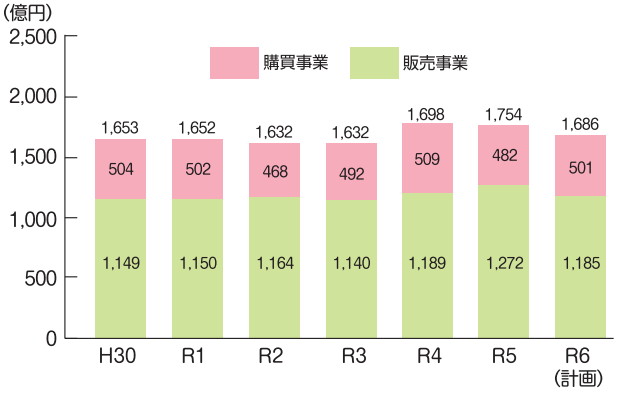
全農茨城県本部

「ほなみちゃん」
「ほなみちゃん」はJAグループ茨城の農畜産物が持つイメージ「健やか・明るい・元気・育む」をキーワードに、親しみやすく愛らしいキャラクターとして生まれました。

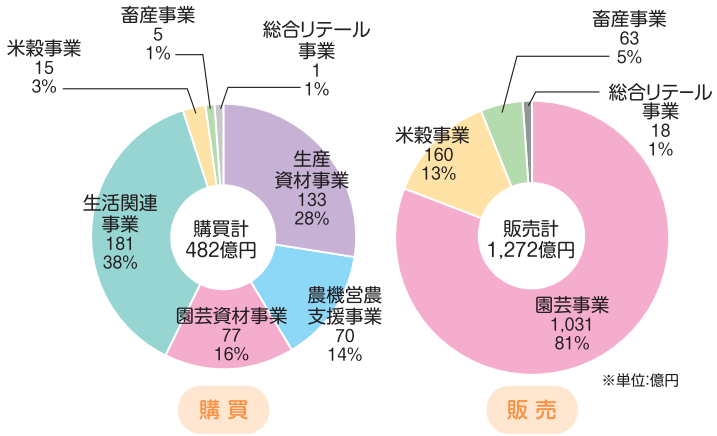
「いいもの いっぱい いばらき」
JAグループ茨城の青果物出荷箱の統一意匠デザインです。消費者のおいしい笑顔が生産者の笑顔につながって、共に笑顔になれるようにとの願いが込められています。

事業取扱高の概要

●事業取扱高の推移

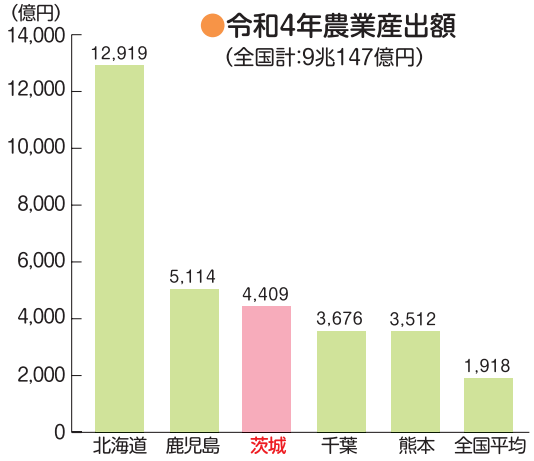


●事業別取扱高の内訳　令和5年度実績…合計1,754億円



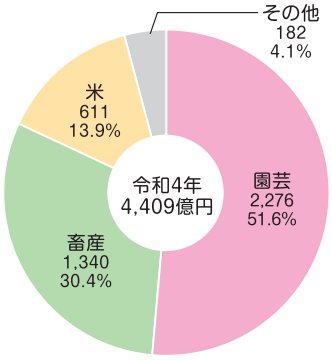
茨城県農業の概要

●令和4年農業産出額
(全国計:9兆147億円)



資料：農林水産省 令和4年度 農林水産統計より

●本県農業の内訳



※単位:億円
資料：令和4年　農業産出額及び生産農業所得
(都道府県別) より抜粋
園　芸…いも類・野菜・果実・花きの合計
その他…産出額計ー園芸ー畜産ー米 (米のみ)

主な農畜産物の全国に占める位置

全国順位 品目	1位 れんこん	1位 みずな	1位 はくさい	1位 チンゲンサイ	1位 くり	1位 メロン	1位 ピーマン
収穫量 (年産) シェア	28,200トン (R4) 50.2%	19,300トン (R4) 49.5%	244,100トン (R4) 27.9%	11,100トン (R4) 27.7%	3,870トン (R5) 25.8%	33,700トン (R4) 23.7%	33,300トン (R4) 22.2%
1位 こまつな	1位 ねぎ	2位 かんしょ	2位 レタス	2位 日本なし	2位 採卵鶏	7位 豚	7位 米 (水陸稲計)
25,100トン (R4) 20.9%	54,300トン (R4) 12.3%	200,200トン (R5) 28.0%	86,800トン (R4) 15.7%	19,400トン (R5) 10.6%	12,303千羽 (R4) 7.2% (R5.2.1)	458,400千頭 5.1% (R5.2.1)	317,000トン (R5) 4.4%

資料：農林水産省　農林水産統計より

子会社

茨城協同食肉株式会社

産地食肉処理センターとして、
と畜解体処理事業、食肉加工事業、
レンダリング事業などを通じて、
安全・安心な食肉の供給に
取り組んでいます。

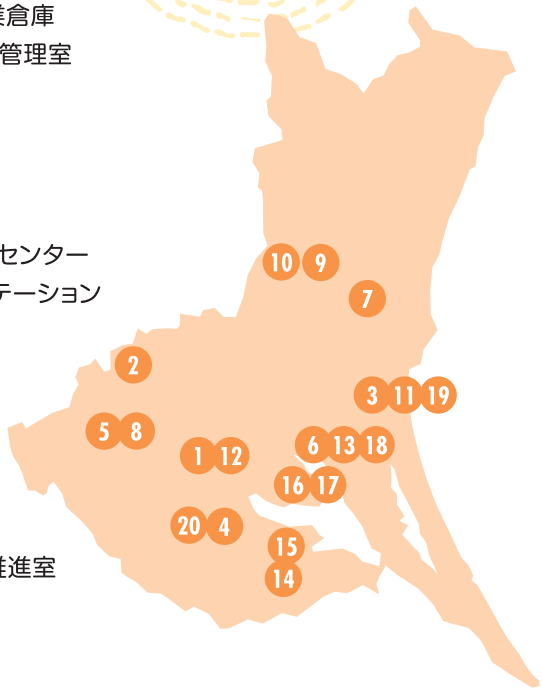
公式HP

JA茨城エネルギー株式会社

県内の総合エネルギー会社として、
生産者が安心して営農・生活できる
地域社会に向けて
石油・LPガス・電気の供給に
取り組んでいます。

公式HP

事業所一覧



米穀部

1 土浦連合農業倉庫　2 下館連合農業倉庫
3 パールライス課・精米センター・品質管理室

園芸部

● 東京営業所
3 中央VFステーション・園芸種苗増殖センター
4 県南VFステーション　5 県西VFステーション
6 青果プロセスセンター
7 園芸資材センター
8 園芸資材センター（つくば）

農機営農支援部

11 農業機械課・営農支援課・技術普及推進室
大型農機整備センター
3 分析センター
12 大型農機整備センター（県南）
13 JAマシーネ小美玉
14 JAマシーネ稲敷かすみ（稲敷）
15 JAマシーネ稲敷かすみ（かすみ）
16 JAマシーネ千代田
17 JAマシーネかすみがうら

畜産部

9 家畜市場
10 哺育センター
3 食肉センター

生産資材部

4 県南推進事務所
18 県南生産資材センター
5 県西推進事務所・
県西生産資材センター

生活総合リテール部

19 ポケットファームどきどき
茨城町店
20 ポケットファームどきどき
つくば牛久店
3 生活センター

お車でのアクセス

- JR水戸駅より車で約30分
- JR友部駅より車で約30分
- JR石岡駅より車で約35分
- 常磐自動車道／岩間ICより約15分
- 北関東自動車道／茨城町西ICより約8分

全農

全国農業協同組合連合会　茨城県本部

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町下土師字高山1950番地1

管理部 総合企画課

TEL.029-219-1113　FAX.029-219-1234

https://www.zennoh.or.jp/ib/

E-mail : kikaku@ib.zennoh.or.jp

06.07.2,000